

New!

<No.1> 2015年4月1日

モン太とつちまるの植物日記

「サクラ舞い散る♪」

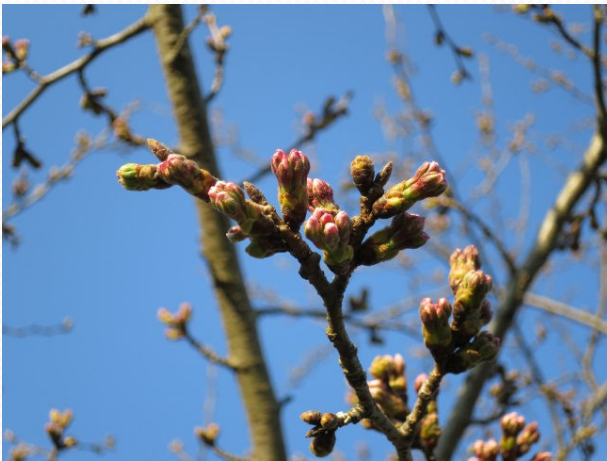
上高津貝塚ふるさと歴史の広場には、80本近いサクラ
(ソメイヨシノ)があります。

この季節になると、広場周縁にサクラが咲き、お花見に最適です！

今は五分咲きほどですが、週末には満開になるでしょう。
ぜひお花見に来てくださいね。



モン太



2015年3月26日撮影
広場 ソメイヨシノ
東京が満開のころ、まだつぼみでした。

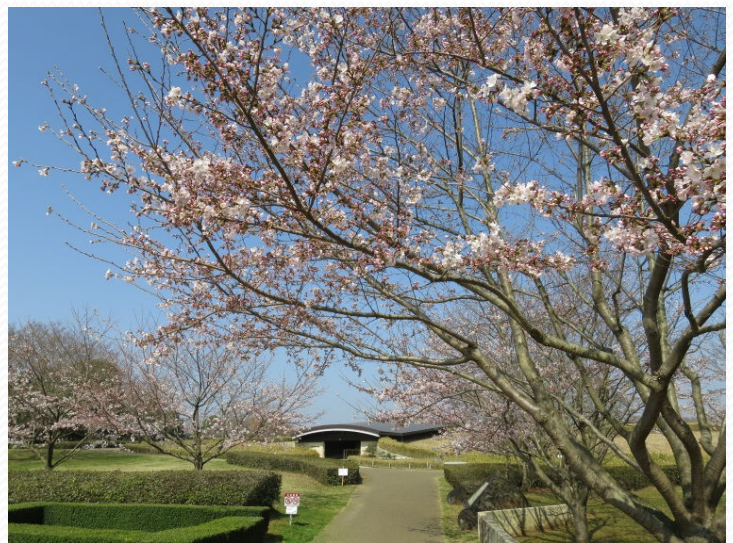


2015年3月31日撮影
広場 ソメイヨシノと貝塚貝層
手前の白いものは貝殻です。

土浦市の花は
サクラだよ！
土浦桜まつり
開催中だよ。



土浦市イメージキャラクター つちまる



2015年3月31日撮影
広場 ソメイヨシノ 一気に開花しました！

モン太とつちまるの植物日記

「芽吹き」

サクラは散ってしまいましたが、サクラの開花と同じころ、他の木々は着々と新しい葉や芽を出していました！

今回は樹木の芽吹きの様子を見てみましょう～
花が先のもの、葉が先のもの、同時のもの、いろいろです。
普段は地味なエノキも4月に花を咲かせます。
この時期しかないなので、見逃さないでくださいね！



モン太



手のひら状の葉

淡黄色の細かい花をつける



エノキ



トチノキ



クヌギ



クルミ

葉と雄花のつぼみ



かじよ
穂状の雄花序



2015年4月12日撮影 広場

モン太とつちまるの植物日記

「葉の寿命」



4月に芽吹いた木々は、あっという間に花を終え、新緑に覆われています。

秋に葉を落とし、冬の間葉を付けていなかった木々「落葉樹」は、この時期に新しい葉を付けるので、冬と春の違いはとても大きいです。

対して、常に葉を付けている木々「常緑樹」は、一見するといつも同じように見えます。ですが、常緑樹は、この春の時期に落葉し、新しい葉を付けているのが観察できます！

落葉樹の葉の寿命は春から秋の半年程度、日本の常緑樹の葉の寿命は1～3年のものが多いそうです。

今、広場にある常緑樹のアラカンやシラカン、クスノキのまわりには落ちた葉でいっぱいです！



花序

2015年4月23日撮影
広場 アラカン
2～3年の古い葉が落ち
新しい葉がつかます。
新旧混成します。



花序

2015年4月26日撮影
広場 コナラ
葉が白く見えます
花もつきました



2015年4月23日撮影
広場 クスノキ
1週間ほどで全ての葉を
落とし、完全に入れ替わります。
新しい緑色の葉と古い茶色の
葉が見られます。



After
2015年4月26日撮影

Before
(No.2掲載)

クルミの花の成長

モン太とつちまるの植物日記

「樹木の花いろいろ」

5月上旬に満開を迎えていた花がいろいろありました。
新緑に覆われて気づきにくいものばかりですが、いくつか振り返ってみましょう。

まずは、竪穴住居そばの**ホオノキ**と**キリ**です。ホオノキは白い大きな花、キリは紫色の花がつけます。

また、**トチノキ**にも白いキャンドル状の花がつけます。俗に「マロニエ」と呼ばれ、日本でも街路樹としてよく使われます。

普段は地味な**エゴノキ**も白い小さな花がたくさんぶらさがっています。



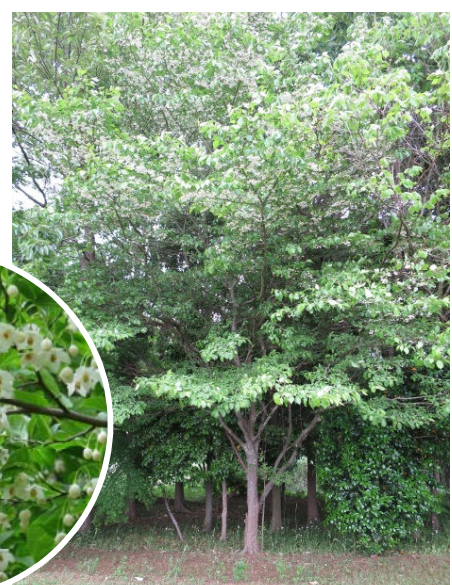
2015年5月6日撮影 竪穴住居とキリ
鳥が運んできた種から成長しました



2015年5月6日撮影 広場南
トチノキ 円錐花序



2015年5月1日撮影
竪穴住居とホオノキ



2015年5月12日撮影
広場東 エゴノキ



モン太とつちまるの植物日記

「虫こぶのできる木」

広場を歩いていると、ケヤキの葉の表面に奇妙な袋状のものを発見しました！
樹木の枝や葉を観察していると、不思議なものを見つけることがあります。



これは**虫こぶ**(虫えい)と呼ばれるもので、ダニやアブラムシ、タマバエの幼虫など、さまざまな虫が、植物に寄生することでできるものです。

ケヤキの虫こぶは、**ケヤキヒトスジワタムシ**によって作られたものです。
また、クヌギの穂状の花序にも赤いフワフワの虫こぶが作られていました。
これは、**クヌギハケタマバチ**によるものだそうです。

虫こぶを作る虫はさまざまな種類がありますが、それぞれ寄生する樹木が決まっているようです。
虫たちの作る不思議な世界を広場で探してみましょ！



平成27年4月28日撮影 ケヤキの葉の虫こぶ <ケヤキヒトスジワタムシ>



平成27年4月17日撮影 クヌギ
花がたくさんついてます



平成27年4月12日撮影
クヌギの花の虫こぶ
<クヌギハケタマバチ>



モン太とつちまるの植物日記

「木の葉に愛をこめて」

夏にむけて、広場の植物はさらに青々なくなってきました。
今回は、いろいろな樹木の葉に注目してみましよう！
葉のふちがギザギザしているもの、丸いもの、針状のものなど
いろいろあります。
何の木の葉かわかるかな？



木の葉に愛をこめて2015



- | | | |
|---------|----------|-----------|
| 1.トチノキ | 6.イロハモミジ | 10.アベマキ |
| 2.サクラ | 7.エゴノキ | 11.シャリンバイ |
| 3.シラカシ | 8.エノキ | 12.ヤブツバキ |
| 4.ネムノキ | 9.クヌギ | 13.イヌマキ |
| 5.ヤマボウシ | | |

モン太とつちまるの植物日記

「梅雨を彩る植物」

はじめじめした季節になりました。

旧暦の五月は五月雨月(さみだれつき)にあたり、今の暦では6月から7月の梅雨の時期になります。梅雨は中国での言い方で、日本では古くから五月雨月と言われてきました。

毎日雨だと嫌な気分になることもあるかもしれませんが、植物にとっては恵みの雨です！皆さんの身近なところで、梅雨を彩る植物が見られますよ。



平成27年7月1日撮影 紫陽花(アジサイ)



7月1日
露草(ツユクサ)



6月2日
毒溜
(ドクダミ)



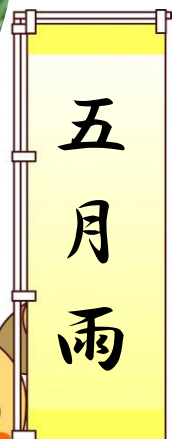
6月21日
合歓木(ネムノキ)



6月17日
朝顔
(アサガオ)



6月21日
振花(ネジバナ)



モン太とつちまるの植物日記

「真夏の広場」

暑い日々が続いていますね。

真夏の広場はかなり暑いですが、広場の森の中ではセミやカブトムシ、バッタなどのいろいろな虫を見つけることができます。葉や幹にはセミの抜け殻がたくさんついています。

また、木の実もどんどん大きくなり、植物は秋に向けた準備を着々と進めています。秋が楽しみです！

広場を回るときは、熱中症対策をしましょう～



資料館では、8月30日までテーマ展を開催中です！ぜひ広場とともに遊びに来てくださいね。



トチノキの実 平成27年8月11日撮影



クリの若い実 平成27年8月11日撮影



セミの抜け殻
平成27年8月11日撮影



考古資料館のグリーンカーテン
平成27年8月5日撮影

モン太とつちまるの植物日記

「収穫の秋は始まっています！」

もうすっかり秋になってしまいました。
8月の終わりには、広場のトチノキやクルミの実が落ち始めました。
広場で一番早い秋の収穫物です。

トチノキは、花も材も実もどれも貴重です。トチのはちみつは良質ですし、材は高級品です。トチの実にはアク抜きをしてトチもちなどが作られます。

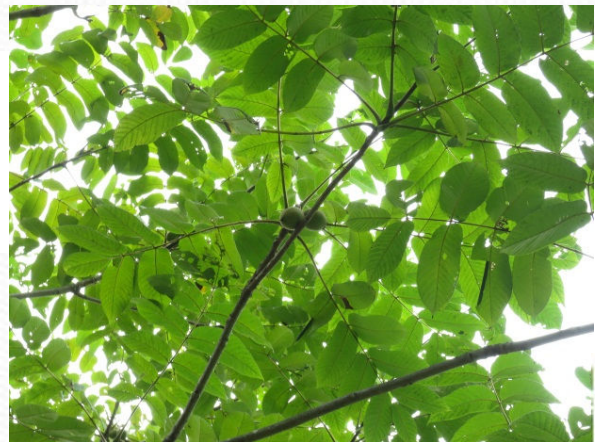
トチの実のアク抜きはとても複雑で、水さらしに加え、灰などを使ってアクを抜かなければ食べることができません。
現在、トチノキの実のアク抜きを実験中です。さて、うまくいくでしょうか？



トチノキ 平成27年9月9日撮影



トチノキの種子 平成27年9月9日撮影
外側のごわごわした果皮(3つに分かれる)を取ると黒光りする種子が出てくる。



オニグルミ 平成27年8月27日撮影



オニグルミの果実 平成27年8月18日撮影
緑色の果皮を腐らせて取り除くとかたい殻が出てくる。
無理にむくと手が黒くなるので注意。



モン太とつちまるの植物日記

「どんぐりの実が色づき、落ち始めました！」

広場にはいろいろな種類のどんぐりがあります。
まだ緑色のものもありますが、茶色に色づき、落ち始めました。

クヌギやアベマキは木のまわりにたくさんの実を見つけることができます。
アラカシやシラカシはまだ緑色で膨らみ始めたばかりです。

10月18日(日)、11月29日(日)には、広場の植物をめぐるイベント「縄文の森をしらべて遊ぼう！」を開催しますので、気軽にお越しください(参加費無料)。

どんぐり博士になれること間違いなし！



スタジイ
平成27年9月9日撮影
実が殻斗におおわれています
アク抜きなしで食べられます



どんぐりのお絵かき、
どんぐりコマも作れるよ！



アベマキ
平成27年9月20日撮影
クヌギとよく似ています



アラカシ
平成27年10月9日撮影
シラカシと違って今はぷっくりしています